



東京で京都の文化体験！

KYOTO in TOKYO presented by 京都館 ～collaboration with Prince Hotel～

京都市では、首都圏に向けて京都の魅力を発信する「京都館プロジェクト」に取り組んでいます。

この度、同プロジェクトの一環として、高輪エリアの3つのプリンスホテル（ザ・プリンス さくらタワー東京、グランドプリンスホテル高輪、グランドプリンスホテル新高輪）が開催する「高輪 桜まつり 2025*」と連携し、「KYOTO in TOKYO presented by 京都館～collaboration with Prince Hotel～」を開催します。

当イベントでは、京都の職人に御協力いただき、「和菓子づくり」、「ランプシェードづくり」、「トートバッグへの金彩体験」の3つのワークショップ（事前予約制）を実施します。

*高輪エリアの3つのプリンスホテルに囲まれた約 20,000 m²に及ぶ日本庭園を中心に開催されるイベント

1 期間

令和7年3月22日（土）、3月23日（日）

※「高輪 桜まつり 2025」開催期間：3月7日（金）～4月13日（日）

2 場所

ザ・プリンス さくらタワー東京 2階 コンファレンスフロア
（〒108-8612 東京都港区高輪3丁目13-1）

3 内容

(1) 和菓子づくり体験【京菓子協同組合青年部（京菓子）】

京都の老舗和菓子屋による、季節の生菓子づくり体験をお楽しみいただけます。

※ 体験で作ったお菓子はその場でお召し上がりいただけます。

開催時間：各日①午前11時～

②午後1時～

③午後2時～

④午後3時～

⑤午後4時～

※予約状況に応じて当日参加可

所要時間：1時間程度



参加費：3,500円(税込)
※当日払い(現金のみ)
定員：各回12名

(2) 巻くランプシェードづくり体験【奏絲綴苑(西陣織)】

西陣織ならではの様々な色の鮮やかな絹糸から、好きな色を3色使用し、木枠に巻き付け、自分だけのランプシェードを作ります。この道70年の職人が、これまでに培った配色技術を用いて、参加される方の感性に合った作品作りをお手伝いします。

開催時間：各日①午前11時～
②午後1時30分～
③午後3時30分～
※予約状況に応じて当日参加可

所要時間：1時間程度

参加費：5,000円(税込)
※当日払い(現金のみ)

定員：各回4名



(3) 金彩トートバッグづくり【田中金彩工芸(京友禅)】

『金彩』とは、着物に金箔などを用い加飾する京友禅の特殊技術です。今回は、型を使って柄を表現する伝統的な技術『摺箔技法』^{すりばく}を用いてオリジナルの金彩トートバッグを作ります。京友禅の帯に使われる柄が選べるほか、3色のトートバッグから好きな色を選べます。

開催時間：各日①午前11時～、②午前11時20分～
③午後2時～、④午後2時20分～
⑤午後3時～、⑥午後3時20分～
⑦午後4時～、⑧午後4時20分～
※予約状況に応じて当日参加可

所要時間：45分程度

参加費：4,000円(税込)
※当日払い(現金のみ)

定員：各回4名



4 申込方法

オンライン予約サイト「Peatix」で1月20日(月)午後2時から受付開始
(URL: <https://prince-kyoto2025sakura.peatix.com>)



5 変更・キャンセルに関するお願い

体調不良や緊急時以外での変更・キャンセルは御遠慮いただいております。

やむを得ない事情での変更やキャンセルが必要となった場合は、オンライン予約サイト「Peatix」のメッセージ機能を使用して、できるだけ早めに御連絡いただきますようお願いいたします。

6 問合せ先

京都市 産業観光局 クリエイティブ産業振興室

電 話 075-222-3306

メール contents-sangyo@city.kyoto.lg.jp

【参考】今回のワークショップに御協力いただく事業者

●京菓子協同組合青年部

京都の上生菓子や干菓子などを取り扱う、京都を代表する老舗和菓子店の担い手により構成された団体。

今回は本青年部を代表して、

- ・かぎ甚（かぎじん）
- ・千本玉壽軒（せんぼんたまじゅけん）

の2事業者が参加する。



●奏絲綴苑（そうしつづれえん）

西陣織の技法の一つである「綴織」は、正式名称を「西陣爪搔本綴織（つめがきほんつづれおり）」といい、機械を使用せずに、機織り機で人の手足のみを使って織り上げられる織物の一つであり、爪で織る芸術品とも呼ばれている。奏絲綴苑は、この綴織の技術保存を目的に、職人たちで組織された団体であり、工房の公開やワークショップを通じて、幅広い普及と継承・保存、発展を目指している。



●田中金彩工芸（たなかきんさいこうげい）

昭和2年創業の京都で4代続く京手描友禅の金彩工房。金彩は、京友禅のきものに、金・銀・プラチナや多種の色箔、金属・鉱物の粉などを接着加工することで、染め上がったきものに華やかさを加えることができる技術である。きものの修繕なども行っており、これまでに多くの金彩加工を施している。

